

土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略等（案）にかかるパブリックコメント実施結果について

2名の方からいただいた意見の概要とそれに対する回答は次のとおりです。

	項目	提出された意見	回答
1	総合戦略基本目標1 「ひと」	総合病院の広域での奨学金に加えて、さらに交付金による産科医育成に重点支援してほしい。	来年度の国予算において「地方創生の深化のための新型交付金」の創設がなされたところであることから、今後、当該交付金の制度を見極め、交付金の活用を検討していきたい。
2		民間の産科（開業）を積極的に誘致・支援する交付金を受けられるように検討してほしい。	来年度の国予算において「地方創生の深化のための新型交付金」の創設がなされたところであることから、今後、当該交付金の制度を見極め、交付金の活用を検討していきたい。 なお、産科医をはじめとする医師等の不足や地域間・診療科間等の医師偏在の実態を踏まえ、地域を支える医師等の絶対数を確保するべく即効性のある施策を早急に講じるよう、全国市長会を通じて、国等に提言を行っております。
3		中学生卒業までの医療費無料を高校生卒業までに拡大するような目玉になる政策を実施してほしい。	来年度の国予算において「地方創生の深化のための新型交付金」の創設がなされたところであることから、今後、当該交付金の制度を見極め、交付金の活用を検討していきたい。 なお、人口減少社会に対応するため、土岐市をはじめとするほとんどの自治体が実施している子どもの医療費助成制度等地方単独事業は、本来国が全国一律に行うべきものであると、全国市長会を通じて、国等に提言を行っております。
4		子育て支援として学校給食無料化（約2億5千万円）を交付金で実施してほしい。	来年度の国予算において「地方創生の深化のための新型交付金」の創設がなされたところであることから、今後、当該交付金の制度を見極め、交付金の活用を検討していきたい。 なお、学校給食費については保護者の教育費負担軽減のため、その公費負担の在り方について検討するよう、全国市長会を通じて、国等に提言を行っております。
5		放課後教室は終了時間が早く、特に市外で働く方にとっては19時まではみてもらいたい。内容的に居場所作りから、さらに充実させるためにも「学童保育」の実施をしてほしい。	来年度の国予算において「地方創生の深化のための新型交付金」の創設がなされたところであることから、今後、当該交付金の制度を見極め、交付金の活用を検討していきたい。
6	総合戦略基本目標2 「しごと」	高校生や通勤者向けの低額・定率の市民バス又はデマンドバスを運行して就学・就業支援を実施してほしい。	来年度の国予算において「地方創生の深化のための新型交付金」の創設がなされたところであることから、今後、当該交付金の制度を見極め、交付金の活用を検討していきたい。

	項目	提出された意見	回答
7	総合戦略基本目標3 「にぎわい」	交流人口・集客を市内に呼び込むため、新たな「名産」の研究をしてほしい。特に農業振興による農産物やB級グルメのような名物を研究・発表（大会開催・出展支援）が出来る場所（まちゆいの強化）や講師を呼んでの料理教室開催を検討してほしい。	来年度の国予算において「地方創生の深化のための新型交付金」の創設がなされたところであることから、今後、当該交付金の制度を見極め、交付金の活用を検討していきたい。
8		土岐市への観光客の誘導とは、テラスゲートに来させるまでであって、すでに、ここまで（テラスゲート）来ている人に観光案内を行い、土岐市の魅力をPRすることは、ポイントが「ズレ」ている。 新たに観光拠点（テラスゲート土岐）を作ったことによって、観光拠点が分散化することになることから、この発想、展開、共に理解し難い。	貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。
9		「どんぶり会館＋セラテクノ」に、その（観光拠点の）機能を持たせること。	貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。
10	総合戦略基本目標4 「まち」	健康寿命を伸ばし元気な高齢者を増やす際には、老人クラブや「はなのき大学等」の「送迎」をして利用しやすくしてほしい。	来年度の国予算において「地方創生の深化のための新型交付金」の創設がなされたところであることから、今後、制度設計を見極め、交付金の活用を検討していきたい。
11	その他	「土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を作成する場合、それを立案する人たちが、土岐市に、どれだけ具体的に真剣に関わっているかが重要な大きなポイントであり、実際、問われる。	「土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に当たっては、土岐市議会との協議や土岐市民へのパブリックコメントの実施、行政機関・教育機関・金融機関・メディア・住民などから構成される推進会議を設置し、そこでの意見聴取といったプロセスを経ております。
12		「土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）・土岐市人口ビジョン（案）」を作る前に、あるいは決定する前に、ここ1年間ぐらい、「全市民、全職員をあげて土岐市を、積極的に知る、体感する年間」を行うべきだと考えます。これを経たから、もう一度、改めて、これらの立案に挑戦してみても、遅くなる以上のメリットがある。	地方版総合戦略は、法により策定が求められているとともに、「各地方公共団体においては、遅くとも、平成27年度中には、地方人口ビジョン及び地方総合戦略を策定」するよう、国から求められています。（内閣審議官 平成26年12月27日付け閣副第979号） なお、「土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が5か年の計画であることから、計画(plan)、実行(do)、評価(check)、改善(action)のPDCAマネジメントサイクルによる成果重視の運営や見直し、外部有識者等の参画による効果検証を行う予定です。

	項目	提出された意見	回答
13	その他	総合計画の策定時に、「歩道の整備」を明記すべきと提案したが、その整備にかかる記述がない。	総合計画と総合戦略は、目的や政策の範囲が異なることから、別々に策定するよう国から求められており、土岐市においては、それぞれのプロセスで策定しております。 なお、頂きました提案は、今後の参考とさせていただきます。
14		市役所内にプロジェクトチームを作り、「駄知線ウォーキング大会」を主催し、「市の職員であることの機能」を充分に利用、発揮すること。	貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。